

第4回三重のふるさとシンポジウム

～中山間地域の集落と農業を考える～

豊かな地域資源に恵まれる三重県の中山間地域は、多くの住民のみなさまの活動によって守られています。魅力ある農村を将来に伝えていくための取組について、さまざまな立場の農業者や住民、支援機関の関係者が共有し意見交換することで、さらに有効な農村振興につなげていくことを目的に、三重のふるさとシンポジウムを開催します。

開催日 平成 29 年 3 月 9 日(木)

会場 三重県総合文化センター 小ホール

(津市一身田上津部田 1234)

主催: 三重県

参加費: 無料

定員: 250 名

参加希望の方は、下記へお申込みをお願いします。参加者のお名前と所属を知らせてください。定員に達した時点で受付を終了させていただきます。

プログラム

- 13:30 開会(13時受付開始)
- 13:35～ 基調講演
- 14:35～ 中山間地域情勢報告
- 15:00～ 県内事例報告
- 15:35～ 県外事例報告
- 16:30 閉会



基調講演



「中山間地域の集落と農業の未来を考える」 生源寺眞一 氏 名古屋大学大学院生命農学研究科教授

中山間地域という言葉がなかった時代から、中山間地域の農業経済の研究に携わり、特定非営利法人中山間地域フォーラムの会長としても地域の再生に尽力している研究者。現在、農林水産省の食料・農業・農村政策審議会会長等の要職を務める。

地域ごとに独自性が際立つ中山間地域の集落ではあるものの、そこには共通する本質的な要素があり、世代を超えて受け継がれています。中山間地域ならではの実情を踏まえ、集落と農業の未来についてお話しさせていただきます。

中山間地域の情勢報告

女性の視点から見た中山間地域農業の取組について

東海農政局農村振興部
直接支払係長 大谷朋子氏

農業生産条件が不利な中山間地域農業を支援する「中山間地域等直接支払」に取り組む集落の事例を中心に、中山間地域農業の活性化に向けた取組状況を、女性ならではの視点も含めて報告します。

県内事例報告

中山間地域等直接支払
いなべ市東貝野集落

中山間地域等直接支払交付金を活用して地域農業を守る活動を続けている集落の取組事例を報告していただきます。

中山間地域における集落営農
農事組合法人 高座原生産組合
津市美里町の中山間地域において、集落営農組織を運営し、地域の農業を守っている事例について報告していただきます。

県外事例報告 (農)ファーム・おだ

中山間地域における地域対策と農業対策の一体化
～集落を守り、若い担い手の受け皿となり
持続可能な集落営農のために～

農事組合法人ファーム・おだ 理事長 吉弘昌昭氏

広島県東広島市の中山間地域(旧河内町小田地区)で、集落ぐるみの営農組織を運営する「ファーム・おだ」の取組事例を報告していただきます。

平成の大合併を経て集落存続の危機に直面した小田地区では、地区の農地を集約した農業法人の設立に活路を見出し、現在は旧村全体をカバーする13集落で、100haを超える規模の農業経営に取り組んでいます。米の品質アップや米粉パンの製造販売をとし黒字経営を続け、若者がUターンする就職先ともなっています。

お申し込み・お問い合わせ 三重県農林水産部 農山漁村づくり課 〒514-8570 津市広明町13番地
E-mail: nozukuri@pref.mie.jp TEL: 059-224-2551 FAX: 059-224-3153